

一部事務組合予算

久喜宮代衛生組合

予算総額 20億8,090万円

- 宮代町負担金 6億4,950万円
- 久喜市負担金 12億9,900万円
- 歳出の主なもの
- 塵芥処理費 11億9,374万円
- し尿処理費 1億1,564万円



完成した堆肥化施設

広域利根斎場組合

予算総額 2億2,460万円

- 宮代町負担金 751万円
- 構成市町は、加須市、久喜市、幸手市、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町の3市7町となっている。
- 負担割合は、均等割20%、人口割40%、利用件数割40%の割合で算出される。

久喜地区消防組合

予算総額 28億9,146万円

- 宮代町負担金 5億 370万円
- 構成市町は、久喜市、鷲宮町、菖蒲町、栗橋町、宮代町の1市4町となっている。
- 負担割合は、均等割20%、人口割80%で算出される。

水道事業

- 資本的収入 1,748万円
- 資本的支出 2億1,002万円
- 給水件数 12,874件
- 年間総給水量 4,248千m³
- 1日平均給水量 11,638m³

老人保健...医療費歳入の99.2%を占める 介護保険...保険給付費歳入の94.8%を占める

老人保健

歳入の22億4850万円のうち、医療費は22億3090万円、前年に比べ率にして15・8%の伸びを示しています。

高齢化社会の進展とともに医療費が増加するため、厳しい状況が続いており、今年度も一般会計から1億2791万円を繰り入れ、老人保健会計の安定を図ります。

介護保険

介護保険はスタートしてから3年が経過し、今後5年間の高齢者人口の推移や保険サービスの整備状況など事業計画の見

直しが図られ、高齢化による介護サービス利用者的大幅な増となります。また、介護施設、老人保健施設ともに充実が図られることから、保険給付費の増が予測されます。

対論
反討 厳しい経済状況下
保険料は据え置き

現在の制度では、介護給付費が増えるほど利用者負担が増し、とりわけ低所得者の負担が重くなるという矛盾がある。町独自の努力により、だれもが安心して介護サービスが受けられるよう保険料の引き上げ中止を求め、予算に反対する。

保険給付費の9億8854万円は、前年比18・2%の伸び率となっており、今年度も一般会計から1億8886万円を繰り入れます。

成論
賛討 先進的な取組みで
在宅・施設を充実

高齢化による利用者の増、介護施設の充実に安心して介護サービスが受けられるよう事業計画に基づいた必要最低限の保険料の改正である。他市町に先駆け実施している介護相談員事業などのさらなる充実を図ることを期待し賛成する。

公共下水道

下水道事業の認可区域の整備がほぼ完了しましたが、今年度は、新たに道仏地区、桃山台地区の事業化が進められます。

国の補助金による事業推進のため、町債（町の借入金）1億150万円、不足する財源は、一般会計から6億4666万円が繰り入れられます。

農業集落排水

県補助金の1億2925万円は汚水処理場建設を行うもので、不足する財源は、一般会計から3853万円、町債9950万円で補います。

条例の制定・改正

今定例会では、介護保険条例の改正をはじめ、地域福祉基金条例の改正、手数料の一部改正、土砂のたい積の規制に関する条例、町道の認定、人事案件などの18議案について、審議の結果、すべてを可決・承認しました。

介護保険料が改正になります

介護保険制度が開始されてから3年が経過し、事業計画の見直しなどが図られ、それらに伴い、第1号被保険者介護保険料の基準額が、現行の月額2627円から率にして10・9%引き上げられ、2914円となります。

介護保険制度が開始された平成12年4月には、11・6%であった当町の高齢化率は、平成15年1月末時点では、15・3%となり、平成15年からの3年間は、毎年200人から300人程度、65歳以上の高齢者が増えることが予想されます。

そのうち、10%の方が介護認定を受けられると想定され、さらに、その中の約80%の方が介護サービスを利用することが予想されます。

当町の介護サービスは、近隣市町に比べ充足度も高く、特に施設については、今年4月から特養「みどりの森」の30床が

増床されます。また、10月にオープンする(仮称)福祉医療センターでは80床が新設されます。

このように、急速な高齢化の進展や増床、新設による入所施設の充実により、大幅な介護給付費の増加が見込まれることから、介護保険料の改正が実施されるものです。

なお、介護保険料の改正後においても、他市町に先駆け実施している介護相談員による活動のさらなる充実を図り、介護サービスが必要となった方に、十分なサービスが利用できるようきめの細かい施策の展開が図られます。

「みどりの森」の30床が

ます。



1日も早く、残土の撤去を

土砂のたい積に規制

無秩序な土砂のたい積行為を防止し、町民の生活の安全の確保、生活環境を保全するため、規制に関する条例が設置されます。

条例では土砂のたい積を行う者は、土砂の流出崩壊その他の災害の発生の防止のため、必要な措置を講じるとともに、その土地周辺の生活環境の保全に配慮することが義務づけられます。

また、土砂のたい積に関する計画を定め、町長の許可を受けることが必要となります。

地域福祉基金の改正

宮代町地域福祉基金を、福祉活動だけの運用ではなく、福祉医療施設にかかる経費の財源に充てる場合に限り、条例を改正し、基金を処分できるようにするものです。

これにより、基金として積み立てられた2億6020万円を、(仮称)福祉医療センターの整備費として充てるものです。そのほか、住基ネットICカードについては、希望者に交付されます。手数料は一件500円です。

人事

■岡野義男教育長が、県に帰任することから、新たに、桐川弘子氏が教育長として任命されました。

■固定資産評価審査委員会の委員として、手島互氏が再任されました。

■合併協議会の議員代表として、小山覺議員、林恭護議員の両名が選出されました。

意見書・請願

イラクに対する軍事行動の終結を求める意見書を可決

今定例会では、議員から提出された意見書3件は可決され、町民から提出された請願2件は総務企画委員会に付託され、委員会審議となりました。

審議の結果、1件は採択、1件は不採択となりましたが、本会議においても、同じ結果となりました。

可決された意見書3件は、国の関係機関に送付しました。

意見書

全会一致で可決

イラク問題に関して、軍事行動終結を求める意見書

イラクの大量破壊兵器所持の疑いに関して、国連による査察の続行・強化により平和的手段による解決を期待していましたが、米英軍などによる武力攻撃が開始されてしまいました。このような不幸な事態に対し、私たちは政府に次のことを要請します。

- 武力行使は極めて残念であり、一刻も早い軍事行動の終結を望む。
- 国連が本来の機能を回復し、速やかに事態解決が図れるよう政府はあらゆる外交努力を講じるよう望む。
- すでに発生している難民支援を含め、人道支援の面で日本政府が積極的に関わり、国際協力の信頼を得られるよう行動することを求める。

町村自治の確立に善処を求める意見書

昨年11月1日、地方制度調査会に提出された「西尾私案」に対して、次の項目について善処するよう意見書を提出します。

- 国は町村の自己決定権および住民自治を尊重し、町村自治の確立を前提とすること。
- 自治の基盤である税財源の地方分権を実現すること。

イネを守り、安心安全な暮らしを求める意見書

食生活の基本である米に「遺伝子組み換えイネ」の技術が開発されようとしています。このことにより、消費者の「食」への不安がさらに高まってきています。

- 国に対し、食の安全、日本の農業、環境、そして文化を守るため「遺伝子組み換えイネ」を食品、飼料として承認しないよう求める。



イラクの子どもたちに平和を

請願 賛成少数で不採択

母親の立場から

有事関連法案に反対する請願

有事関連法案の請願については、昨年6月議会において、委員会付託となり、総務企画委員会で審議され、不採択となっています。

今定例会で総務企画委員会に付託され、審議の結果不採択となり、本会議においても同様な結果となりました。

を審査

ISO14001による庁舎など 効果的な運営開始

町民経済委員会



- ISO14001規格に基づき、定期維持審査、内部環境監査、職員研修が実施される。
- また、町民、事業者・生産者、町により、地球温暖化などの一連の環境施策について取り組む、宮代町環境会議が設置される。
- ダイオキシンの調査は、前年度同様実施されるが、今年度は、委託単価が1地点160万円と下がり減額となっている。
- 自主防災組織への取り組みは、現在5地区であるが、近々和戸地区でも組織される。
- 住基ネットの安全性は責任体制の確立やサーバー室の入退室管理の徹底を図っている。ICカードは、希望者の申請により交付される。
- 国保会計の財政安定を図るため、一般会計からの繰入金2億8156万円が予算化された。

100億を越す 積極型予算編成

総務企画委員会

- 15年度予算は100億8600万円の前年比13・5%の増、金額にして1億9800万円の増となったが、これは10月開設の(仮称)福祉医療センター開設にかかる整備費の増によるものである。
- 町民税は個人、法人ともに長引く景気低迷や高齢化が進み、納税者の減少などが原因で15億3359万円、前年より1億1363万円が減額となった。
- 町たばこ税も分煙や禁煙が進み、905万円の減で1億3930万円。
- 減額する中で、軽自動車税のみが2851万円で6・1%増となった。
- 新規事業としては、市民参加条例策定事業、電脳公民館運営事業などに期待がかかる。統合型地理情報システム(GIS)、町内循環バス運行事業の2台体制は住民サービスの充実が図られるものと評価した。



予算・重点施策

10月開設の(仮称)福祉医療センターに審議集中

文教厚生委員会



□建設が進む(仮称)福祉医療センターは、初期診療の拠点となる診療所をはじめ、高齢化社会が進展する中で、高齢者の在宅復帰を目指した介護老人保健施設および少子化時代に適応した保育園を併設した町民待望の本格的な福祉医療施設である。委員会は、建設現場に赴き、工事の進行状況をはじめ、診療所やリハビリ室などの位置関係や、高度医療機器の配置状況などを確認した。

また、2・3階の老人保健施設の全ての部屋は採光が行き届き、療養時を快適に過ごせるような設計に、宮代らしさが伝わってきたところである。□介護保険特別会計では保険料改正に審議が集中。制度導入から3年を経過、事業計画が見直された。宮代町の入所施設の充実や高齢化による給付費の増などを考慮した保険料改正の根拠が示された。

土地区画整理など

26箇所を視察

建設土木委員会



□土木費の14億882万円は、前年に比べ2億8958万円、率にして12・9%の減となっている。減額の理由としては、健康マツ歩事業が前倒しで行われたことや猫島橋の完成によるものである。□15年度の主要事業は、姥ヶ谷落川を地中化し、上部を緑道とする整備計画を大幅に短縮し、平成16年度の完成を目指す。

土地区画整理事業の道仏地区では、仮換地指定に向けた調査・測量などの実施。和戸駅周辺地区では、基本整備案の作成。動物公園駅周辺街づくり事業では、現況測量や土質調査を実施し、西口駅前広場の施設配置計画案などが作成される。□視察では、整備の要望がある生活道路の現場確認を行い、要望理由や緊急性の説明を受けた。財政状況や費用対効果などを考慮し、事業選定が行われることを確認した。

町政を問う

合併関連に質問集中

一般質問は、19名の議員が登壇し、合併問題をはじめ、医療、福祉、環境、道路問題など46項目について、町の考えをたどりました。

ここに掲載したものは、質問した議員自らが原稿をおこし、507字以内にまとめたものです。

めん類給食の食器を取り替えて

今後、慎重に調査研究する

赤塚綾夫 議員
(平成会)



(問) 合併後、広域利根斎場久喜宮代衛生組合、久喜地区消防組合の3つの一部事務組合の管理運営はどうか。
(答) 町長 一部事務組合には歴史があり、実績や将来展望もあり責任もある。合併協

議会の中で存続するよう関係市町と誠心誠意協議していく。
(問) 合併前に宮代消防団第2分団第1部用車庫の移転を。
(答) 生活環境課長 緊急出動時の団員の駐車場は、隣接する公園に駐車するよう伝えられている。車庫の移転は財政状況など含めて検討していく。
(問) 学力向上につながるのでは。
(答) 教育次長 冷房機器設

置の有効性は認識しているの
で調査するため、「学校教育環境検討事業」を立ち上げる。
(問) 月2回ほどある「うどん」と「ラーメン」がおいしく食べられるように食器を別に用意すべきではないか。
(答) 教育次長 めん類を食べるときも「汁わん」を利用しているが、めんが多いので汁わんに一度に入らないので、袋の上からちぎって少しずつ出して食べるよう指導している。今後、慎重に調査研究していきたい。

1年生の給食風景





健康マッ歩の延長として人道橋を

和戸3・4丁目備前堀川

人道橋の架橋は

必要性を認識し、河川管理者と協議する

野口秀雄 議員

(平成会)



和戸備前堀川の人道橋設置は
(答) 建設課長 健康マッ歩
事業も順調に推移し、平成15
年度に計画通り完成すること
から、古利根川に注ぐ備前堀
川の人道橋架設は、健康マッ
歩ルートの利用向上や和戸3

丁目集会所への往来など、コ
ミュニティ道路としての役割
も期待でき、その必要性は認
識している。
架設にあたっては、河川管
理者との協議が必要であり、
設置の可能性、設置の箇所、
施工方法などを調査し、県と
協議を重ね検討していく。
インフルエンザの防止対策は
(答) 教育長・健康課長 今
年も流行が予想され、町内の
幼稚園、保育園、小中学校で
は、手洗いやうがいの励行、
マスクの着用、十分な水分の
補給、また、日ごろから十分

な栄養や睡眠をとるよう呼び
かけてきた。ピーク時は、各
小学校で50〜60人、各中学校
では30〜40人の欠席者があつ
たが、学級閉鎖には至らなか
った。今後もインフルエンザ
の危険性を十分認識し、各施
設に対する予防策の徹底を図
るところがけていく。
小児医療体制は、現況とし
ては乏しいが、従来の4カ月、
1歳6カ月、3歳児健診に加
え、(仮称)福祉医療センタ
ーの医師が担当する10カ月健
診を新たに実施し、小児医療
体制の強化を図っていく。

(仮称)福祉医療センターの

管理体制は

協議会等を設置し、検討を進めていく

山下明二郎 議員

(平成会)

(問) (仮称)福祉医療センタ
ーの協議会設置と管理体制は。
(答) 健康課長 協議会の設
置要綱等は、町の課長等で協
議をしているが、まだ、設置
には至っていない。素案では、
町からは町長、助役、参事の

3人、地域医療振興協会から
は理事長、(仮称)福祉医療セ
ンター長、協会事務局長の合
計6人体制と考えている。施
設整備や管理運営等の重要事
項を協議し、(仮称)福祉医療
センターの発展と地域の保健
医療、福祉の向上に努める。
下部組織として、町と協会
の事務レベルで幹事会を設け
て協議会上程していく。
(問) 「新しい村」の経営状況
と今後の施策は。
(答) 農政商工課長 経営状
況は、若干の赤字経営となつ
ている。パン加工事業は、7

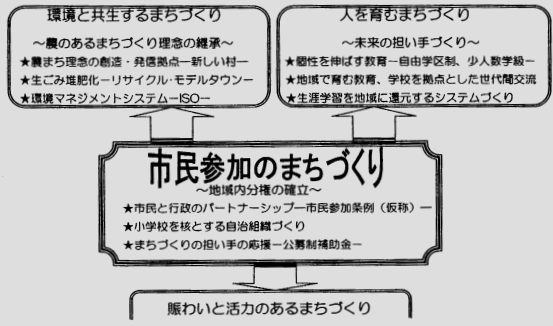
月に完全独立を目指している。
味噌の加工は、2つのグル
ープが係わっており、今年の
9月には、宮代産の味噌が誕
生する。
今年度は、「ルーキー農業塾」
の支援を行う。市民農園は76
区画中、47区画の入植が決ま
っている。歴史的価値のある
ほつつけ水田を中心に、農と
商が結びついた、宮代型オリ
ジナルとして付加価値のある
商品を生みだし、地域性や個
性は合併後も宮代の誇りとし
て、長く存続させていく。

完成間近な(仮称)福祉医療センター



Ⅶ 新しい市に生かしたい宮代のまちづくり

市町村合併は、少子高齢社会への対応や財政基盤の強化だけが目的ではありません。宮代が培ってきたまちづくりの「理念」や「夢」を実現する手段でもあります。宮代町では、近隣市町と合併協議を進める場合には、こうした理念や夢を新市に生かしていきたいと考えています。



市民参加のまちづくりを

宮代らしさを新しい市に

住民の声を反映したい

榎本和男 議員

(清風会)



(問) 枠組みが決まり、合併協議会で新しい市の将来図とその実現方法を新市建設計画にまとめるが、宮代らしさ、宮代の町づくりの内容はどのように位置付けられるか。それには当町の合併協議

会と住民会議のメンバーの意見交換や勉強会など、宮代町としての取り組みが必要では。新市建設計画に周辺地域である沖の山、八河内地区をどう位置付けるか、工業団地構想を見直し、関係者と土地利用構想を研究するとあるが早期に行うのか。

(答) 助役・合併調査室長

勉強会などの開催は委員の主体的意志を尊重し、内容、時期、手法などを検討して頂く。第1回目は3月下旬に会議を行い、今後のスケジュール、町の取り組みを説明する。建設完了を目標に、順調に進んでいる。

町道70号線などの道路整備や土地利用構想について関係者と検討する。結果を合併協議会に反映したい。

下水道事業の今後の展開は

(問) 桃山台地区、道仏地区の下水道の接続は。合併前までの整備計画は。

(答) 建設課長 14年度末で

整備認可区域の98・7%を完了予定。認可拡大作業後、市街化区域の道仏地区を優先。桃山台地区はコミプラ施設等を調査し、結果に基づき道仏地区と整合性を図り整備していく。

(仮称) 福祉医療センターの

整備状況は

10月開設に向け、順調に進んでいる

木村 晟一 議員

(平成会)



(問) (仮称)福祉医療センターの建設工事は、実施計画通りに進んでいるか。また、完成後の管理体制および雑役作業員の地元雇用は。

(答) 健康課長 (仮称)福祉医療センター建築工事は、

予定通り順調に進んでいる。1月末までの工事の進行状況は、全体工事量の約18%となっている。

施工状況は、1月下旬から診療所、介護老人保健施設棟の1階の立ち上がり部分、外壁や柱のコンクリート打設工事と同時に、2階のフロア部分のコンクリート打設工事が実施されている。

現在、3階までの立ち上がり部分の外壁や柱および床のコンクリート打設が完了したところである。10月の開設に間に合わせるべく、8月末の

6月議会で、(仮称)福祉医療センターの設置および管理条例案を提出する予定。承認後は、保育所を除く施設の管理運営を、社団法人地域医療振興協会と業務委託契約を締結する予定である。

施設内の雑役作業の従事者の地元雇用については、地域の各種関連団体にそれぞれ業務委託を行う予定で、地域医療振興協会へ要望していく予定となっている。

地元雇用を期待





通学路の整備と点検は

安全整備と点検を計画的に進める

木村竹男 議員

(清風会)

(問) 通学路の安全点検とその整備状況について。また、こども110番の家について。
(答) 教育長 本年度は県が中心となり大幅な見直しを計画した。各土木事務所ごとに、地区通学路安全検討委員会を

設置して、通学路危険箇所を調査した。本町の各学校で調査した危険箇所は、杉戸土木事務所で集計し、管内で3回の地区通学路安全検討委員会を開催し、管内の各学校から提出の危険箇所一つひとつについて、国土交通省、管内市町村の担当者、管内の警察署、東京電力、N T Tを含めて検討し、整備すべき箇所をそれぞれの担当に割り当てて17年度までに改善する見通しをたてた。

町内の点検結果件数は56件で、それぞれの分担で対応し進めている。

安全な通学路はみんなの願いです



「宮代版プロジェクトX」でこの町をもっと元気に

「宮代版プロジェクトX」で町を元気に

研究していきたい

小山 覺 議員

(公明党)

(問) わが国経済の長期低迷は、市民生活に大きな暗い影を落とし、現在の閉塞感から脱出するには商工業者および商工会はもとより、市民もそれぞれの立場で努力しなければならぬが、まずは行政の

不況活性化策と支援が必要と考える。しかしながら、地方自治体の財政状況が厳しい今日の状況においては、知恵を絞る施策、発想の転換を図ることも必要ではないか。ヒントの一例として、NHK「プロジェクトX」がある。「無名の日本人」を主人公とする先駆者たちの「挑戦と変革の物語」を描き、今再び新たなチャレンジを迫られている日本人に向け「挑戦への勇氣」を伝えている。そこで「宮代版プロジェクトX」を策定し、ソフト面からの支援を講ずる改善に努めている。

こども110番の家については、今後とも、地域の皆さんにご協力いただきながら、登下校の安全に努めていく。
(問) 道仏地区土地区画整理事業の進行状況と見通しは。
(答) 都市計画課長 現在は、16年度の仮換地指定に向けて調査・測量等を実施している。事業の完了時期は平成20年度末を目指したい。また、事業経費の減を重点に、収支バランスが取れた資金計画になるよう、全体的な見直し作業を進めている。

考えは。
(答) 農政商工課長 今後研究していきたい。

(問) 住基ネットワークシステムについて、福島県岩代町住民情報バックアップデータ盗難事件の教訓と対応は。住基ネット第2次施行についてカードの空き容量を使った独自利用は。

(答) 町民サービス課長 岩代町で起きたような事件は当町では起こりえない。セキュリティ対策は万全を期している。独自利用は、現在のサービスを充実させていく。



新橋通り線工事予定地

新橋通り線バイパスの 一日でも早い開通を

引き続き、早期着工を強く働きかけていく

野口 秀夫 議員

(平成会)



新橋通り線の進行状況は

(答) 技監 平成14年10月に杉戸土木事務所、11月には県土整備部道路街路課に事業促進の要望をした。

その内容は、第59回国体まで間に合わなくても、町に

後引き継がれるか。

宮代町まちづくり、 都市計画の行く末は

宮代らしいまちづくり 理想を新市へ

小林 新一 議員

(平成会)

(問) 宮代町まちづくり都市計画マスタープランの目的と役割は、合併後どのように進むのか。宮代町総合計画、実施計画に基づき優先的政策事業は順調に進められている。宮代らしい事業政策は、合併

(答) 都市計画課長 住民の意見を反映させて、将来ビジョンや地域別の整備方針を定めるなど積極的なまちづくりの役割を担っており、合併後新しい枠組の中で進められる。

(答) 総合政策課長 総合計画に位置づけられた政策を具現化し、実効性を担保、策定するものが実施計画。優先的政策を中心に緊急性や成果、費用対効果の観点から政策決定を行う。合併協議会が設置され、「事務事業の調整」「新市建設計画の策定」など協議。

長い年月をかけ培ってきた当町のまちづくり理念を、新市へ引き継ぎ、「宮代らしさ」が調和した新たな自治体の誕生に努力する。

(問) 都市計画道路「春日部久喜線」について。

(答) 建設課長 この道路は南北に長い町を縦断した計画路線。活力あるまちづくりに欠かすことのできない重要路線。整備に100億円程度が見込まれる。進行状況は、商工会協から450m、姫宮地区750mまで完成している。

新市構想に宮代町の道路の位置づけを



予算の配分をお願いしたところである。

東武鉄道との協議の進行状況は、鉄道と立交差化による詳細設計の協議がすでに終了している。県からは平成15年度より工事に着手する予定と聞いている。また、鉄道と近接工事になる関係から、立交差の工事は、東武鉄道に委託する予定となっている。

このため現在、東武鉄道社内において工事費の積算など、施行協定の締結や工事着工に向け、事務レベルでの調整が図られている。